



2017年9月発行 NO.1

まだまだ暑さが残る今日この頃ですが、先生方はいかがお過ごしでしょうか。
今年度の学校図書館の訪問も、早いもので2学期になりました。
このお便りでは学校図書館支援に関わる様々な事をお届けしていこうと思います。
今回は奈良市立図書館の学校図書館担当者の紹介をさせていただきます。

塾や習い事に忙しく、おこづかいにもかぎりのある子どもたちにとって学校図書館は、気軽に本と出会うことのできる場所だと思います。子どもたちや先生にとって、役立つ魅力のある図書館を作っていけたらいいなと思っています！
大宮小学校・佐保川小学校・三笠中学校担当：中央図書館司書 帖地



学校の中で子どもたちの好きな場所のひとつになるように、居心地の良い図書館づくりを目指しています。また、先生が授業で使いたくなるように資料をそろえて、楽しい授業作りのサポートができればと思っています。お気軽にお声掛け下さい！
飛鳥小学校・椿井小学校・大安寺西小学校担当：中央図書館司書 角井



暗闇に光が射すように、さっきまでは知らなかったことを知る。図書室はその体験を支える場所だと思っています。まずは環境の整備から「行くのが楽しみ！」になるような素敵な場所を目指して尽力します。小さなことからコツコツと。お気軽にお声かけください。
鶴舞小学校・六条小学校・登美ヶ丘中学校担当：西部図書館 服部



情報の古い本を整理したり、校外学習時に使えそうな本を集めたり、読書だけでなく授業にもっと活用できる図書室にしたいと日々奮闘しています。「この单元、本を使って授業の幅を広げられないか？」など授業に関することはもちろん、授業以外の資料相談もぜひしてください！
富雄北小学校・平城西小学校・富雄第三小中学校担当：西部図書館 中野



今年度から、学校図書館の勤務となりました。久しぶりに行く学校や、子どもたちのにぎやかな声は、新鮮な感じがしました。子ども達との関わり方など、まだまだ勉強しなければならないと思っています。みなさんの力になれるように、がんばります。
佐保台小学校・朱雀小学校・左京小学校・平城東中学校担当：北部図書館 武岡



五十嵐絹子氏 講演会

学校図書館が変われば子どもたちが変わる

2017年8月7日(月)、奈良市ボランティアインフォメーションセンター及び大安寺西小学校にて、奈良子どもの本連絡会主催の講演会及び学習会を学校担当者全員で受講しました。講演会の冒頭挨拶で中室教育長が「子供の読書活動の充実を図るべき」であると述べ、参加者も大きく頷いていました。講師の五十嵐絹子氏は山形県の朝陽第一小学校を始めとする学校で司書として長年勤務され、現在は「学校図書館アドバイザー」として学校図書館の応援をされています。それらの経験を踏まえ、「学校図書館を一番すてきな場所にする方法」、「すべての子供に本を楽しむ、読書力をつける取り組み」、「図書館資料と授業をつないで図書館を学習センターにする手段」などのお話を伺い、そのために「学校司書ができること、しなければならないこと」として120に及ぶ職務の標準を示していただきました。また、講演の中で「学校図書館が充実すれば子供の学力が向上する」という内容が印象的でした。



いっこ!

小出しにして何度も行きたくなる図書室に

購入したたくさんの新しい本。準備ができれば子供たちにすぐに読ませてあげたいからと1度に全部出していないませんか？たくさんあって最初は喜びますが、いつ行っても同じ本ばかりある図書室では子供たちはすぐに図書室から足が遠のいてしまいます。子どもたちが図書室に行くたびに新しい本と出合えるよう新刊はぜひ小出しにしましょう！本屋さんの新刊コーナーって行くたびに新しい本が並んでいてワクワクしちゃいますよね♪まさにそれです！図書委員さんに昼休みに少しずつ出すようお願いしてみてもいいですね。

奈良市立図書館から

本年度から学校図書館を専任とした市立図書館の司書を学校に派遣しています。学校図書館を魅力的な場所にすれば、子供の読書活動時間も増え、将来豊かな感受性を持った大人に育つと言われていています。市立図書館としても子供たちにとって「学校中で図書館が一番すてきな場所」にできるように取り組みたいと考えています。

中央図書館長 奥田

